



2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026.2.13

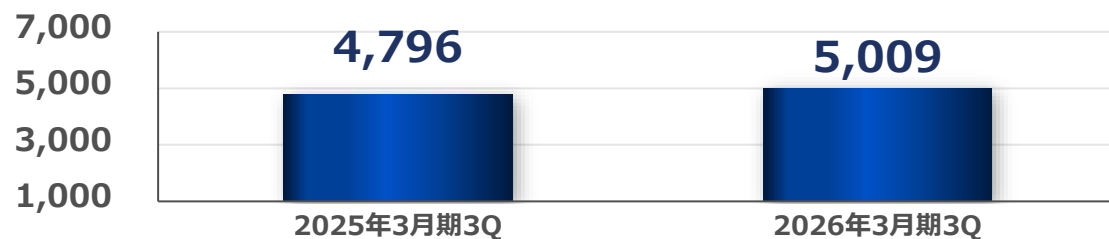
バーチャレクス・ホールディングス株式会社
証券コード：6193



第3四半期連結業績

連結売上

単位：百万円

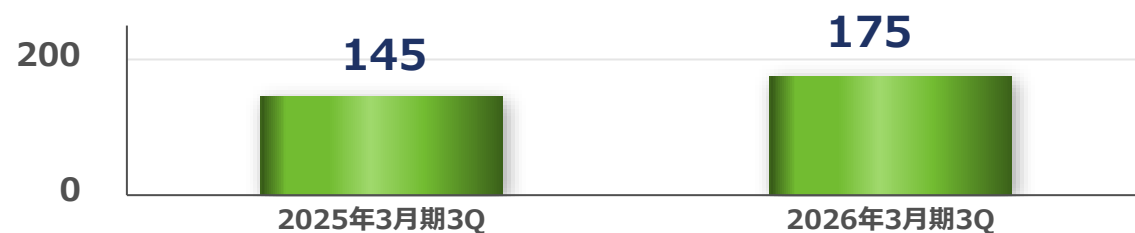


4.4% (+213百万円)増収

- IT&C、BPOともに増収

連結営業利益

単位：百万円

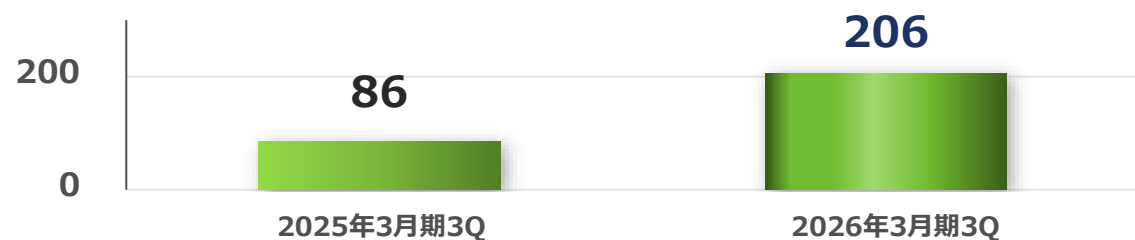


20.7% (+30百万円) 増益

- IT&C、BPOともに増益
- 事業利益 増益 69百万円
－ 全社費用 増額 39百万円

連結経常利益

単位：百万円



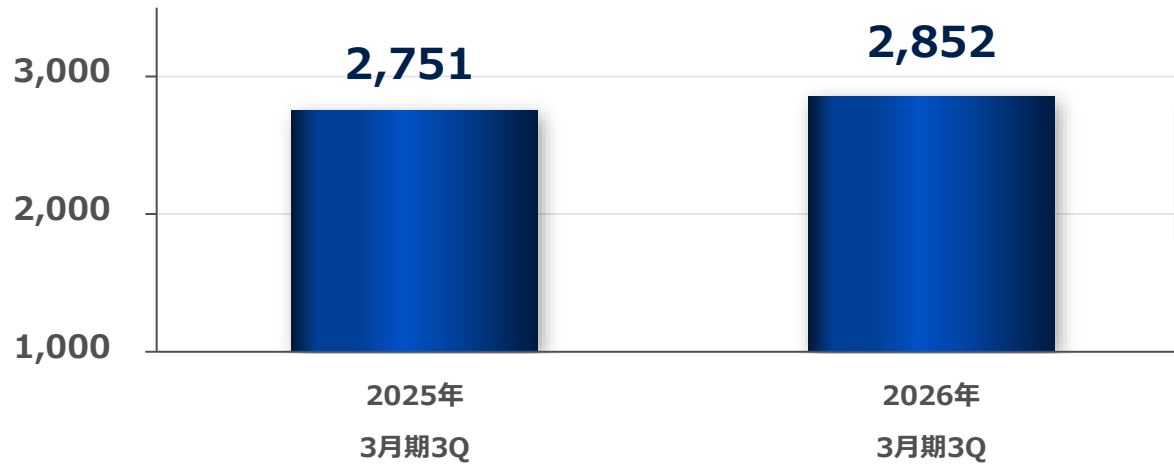
138.2% (+120百万円) 増益

- 営業外利益（投資事業組合運用益23百万円、人材育成助成金13百万円）計上

セグメント収支 –IT&コンサルティング事業–

IT&コンサル事業 売上

単位：百万円

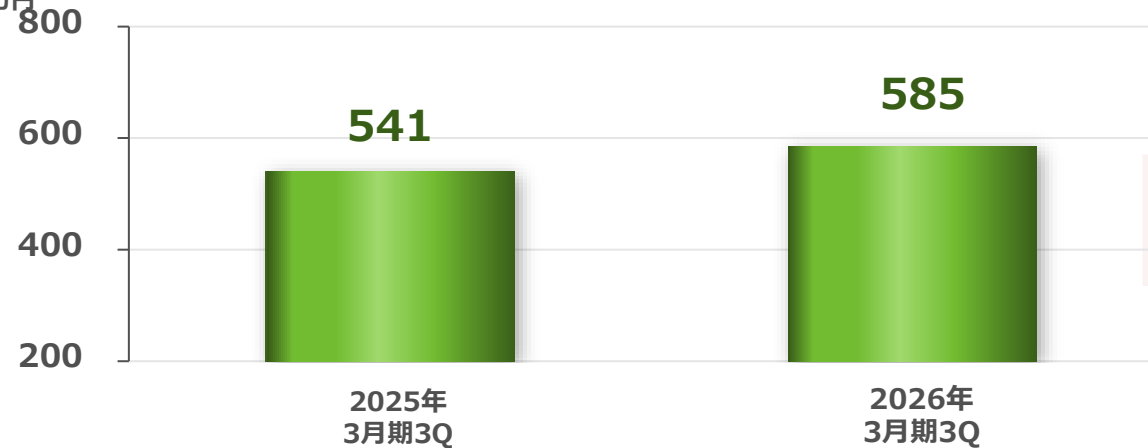


3.6% (+100百万円)増収

- 期初から継続して稼働率が安定推移

IT&コンサル事業 利益

単位：百万円



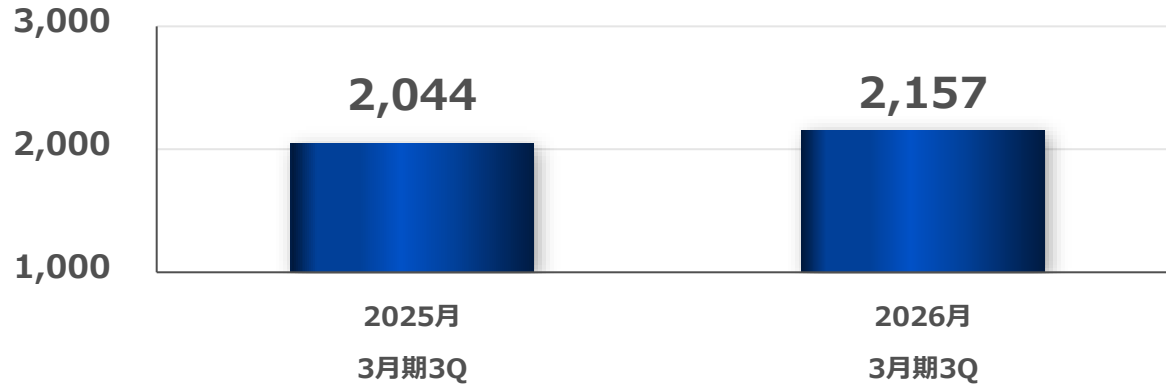
8.1% (+44百万円) 増益

- AIを中核としたサービスが着実に展開（VXC社）
- 大型システム開発案件のトラブルが概ね収束（TIM社）

セグメント収支 – アウトソーシング事業 –

アウトソーシング事業 売上

単位：百万円



5.5% (+113百万円)増収

- コンサルティング支援を端緒としたマザーセンター運営受託支援の取組みにより大手クライアント企業内で受託規模拡大（他事業領域へ横展開）

アウトソーシング事業 利益

単位：百万円



6.9% (+25百万円) 増益

- 売上拡大に伴う利益増加、および各プロジェクト毎の利益率改善の取組みが結実

AIコールセンター化支援

＜進捗状況＞

- ①新規エネルギー系企業：大手AI企業との協業によるAI関連プロジェクト（AIナレッジセンタードサービス）が開始
- ②金融系企業2社・大手放送事業会社など：AI関連コンサルティングプロジェクト（音声認識AI導入等）が推進中
- ③既存大手エネルギー系企業：AIマザーセンター（高付加価値型BPO）継続運営中

コールセンターのコンサルティング経験
+
コールセンターの運用経験

コールセンターのIT導入実績
+
AIの研究開発とAI導入経験

コンサル/IT/BPOの全てにAIの経験
+
ワンストップ支援

マザーセンター

- ・ベンチマークの設定
- ・トライアルの実行
- ・ベストプラクティスの獲得

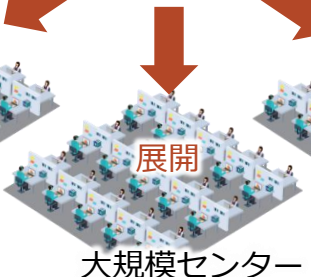


Virtual
Consulting



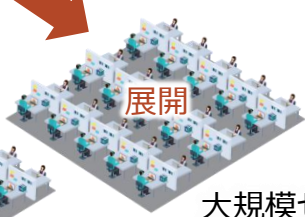
展開

大規模センター



展開

大規模センター



展開

大規模センター

- ・大規模センターの肥大化防止
- ・顧客利便性を高めながらの効率化

個別AI導入
(26.3期)から
未来型AI-CC
(27.3期)へ

※達成状況を継続的に
開示予定

生成AIでのメール回答
問い合わせの自動要約
FAQの自動生成
リスク通話の自動検知
自己完結型チャットボット
音声認識、自然発話

AI コールセンター

Virtual
Consulting

- ・実験と検証
- ・AI本番導入/運用
- ・AI導入の中期プラン作成



導入

- ・大規模請負業者にできないAIへのシフト
- ・AIによる顧客体験の高度化



- ・AI自動回答
- ・AI自然会話対応
- ・オペレータ補助
- ・AI同士の連携（役割分担）
- ・各種自動分析

生成AI活用の自社製品・サービス化

＜進捗状況＞

- ①既存大手エネルギー系企業にてKotozna連携ソリューションによるAI-BPOが4Qより本格展開予定
- ②Agentforce（SalesforceのAIエージェント）支援案件が急速に拡大中

ChatGPTを使った自動回答

誤回答を防ぐ教育・監視

AIに業務をさせるための技術基盤と運用体制

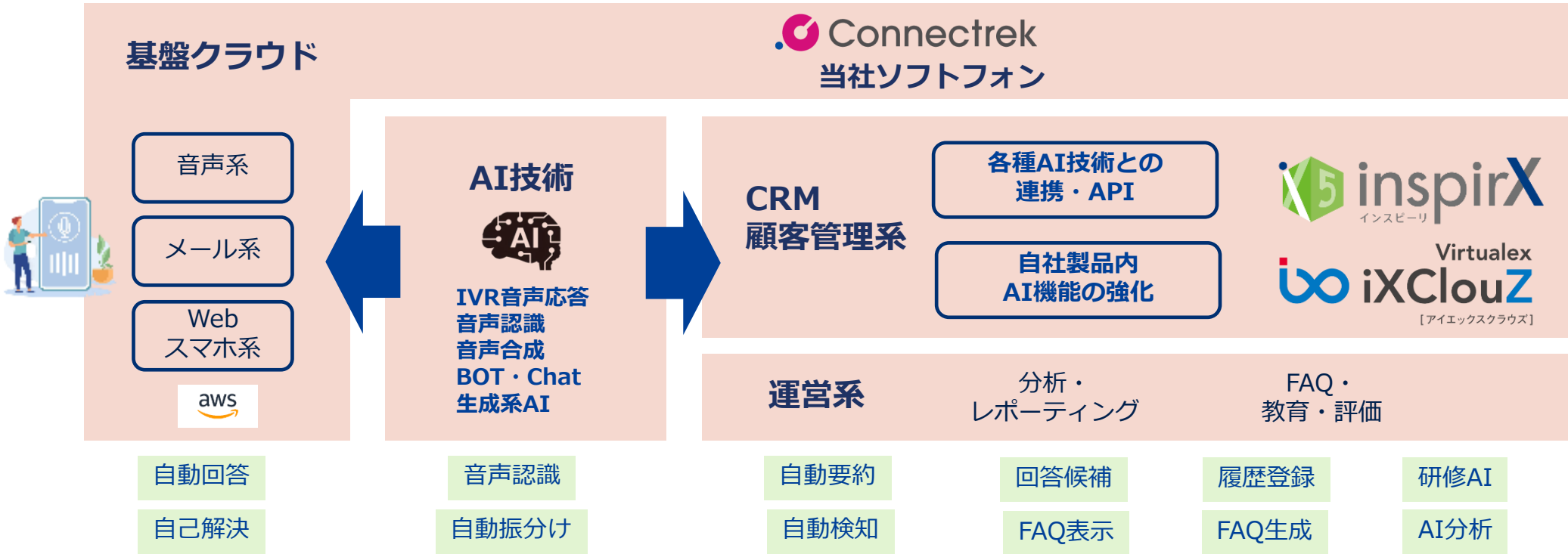


AI総合プラットフォーム事業

＜進捗状況＞

- ①当社の次世代AIコンタクトセンターサービスモデル（AI-BPaas）の中核をなす、独自技術を用いたAIエージェントの企画・検証を継続。4Q末に仮想業務でのデモ環境構築予定（*Bpaas：Business Process as a Service）
- ②大手コンサルティングファーム/既存クライアント等でAmazonConnect/AWSでの自動化等に関する支援継続中

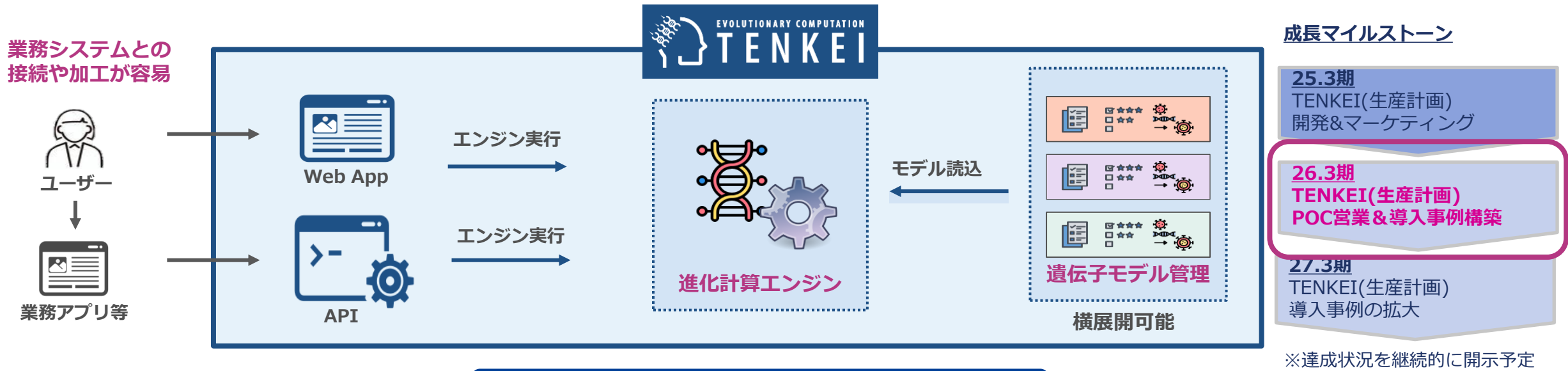
CRM単体からプラットフォーム全体のソリューション提供へ



進化計算TENKEI拡販

＜進捗状況＞

- ① 大手食品関連メーカー（複数拠点）、大手輸送機器関連メーカー、電気機器関連メーカー等で数多くのPoC（概念実証）が完了
- ② 4 Qにて最適化エンジンのバージョンアップ（高速化）を行い、次年度よりPoC済みクライアントへ順次本格導入の見通し



TENKEI for 生産管理の機能範囲

日々の注文、それぞれの異なる納期、資材・在庫の状況、設備の稼働率、生産ライン組み換え効率・・・
無限にある組み合わせの中、制約条件と優先事項を考慮した最適な生産計画をTENKEIが作成

- 生産計画立案
(日次生産数調整)
- 生産スケジュール作成
- 製造管理
- 生産計画修正
(日次生産数調整)
- 在庫管理